

令和7年度 災害に備えた看護職員のための 非常時対応スキル向上セミナー

令和7年5月26日
日向市 高齢者あんしん課
介護認定係

災害時、あなたはどう動く？看護職員の必須スキルを磨く 看護職員の非常時対応研修



森久保 裕氏の講義風景＝令和7年5月23日、日向市役所で

近年の地震や台風、感染症の流行は看護現場に大きな影響を与えています。介護施設・事業所の看護職員は災害時に重要な役割を担うため、専門知識とスキルの習得が求められています。

本セミナーでは、災害の種類や影響、看護職員の役割と責任を明確にし、安全・安心の確保を目指しました。加えて心理的支援や感染管理、多職種連携の重要性についても学び、地域貢献に備えました。

講師は市が依頼した宮崎県立延岡病院の救急看護認定看護師・日本DMAT隊員の森久保裕氏が務め、豊富な現場経験に基づきわかりやすく解説されました。



本セミナーでは、地震や台風などの自然災害や感染症の特徴と介護現場への影響を学び、災害時の看護職員の具体的な役割と責任を確認しました。また、被災者や職員のメンタルケアの重要性と支援方法、感染症予防の基本と災害時の感染管理対策についても理解を深めました。最後に質疑応答とディスカッションを通じて、参加者の疑問に講師が丁寧に答え、活発な意見交換が行われました。

参加者の声

- 「災害時の看護職員の役割や責任が具体的に理解でき、とても勉強になりました。今後の業務に活かしていきたいです。」
- 「心理的支援の重要性について改めて認識でき、被災者だけでなく職員同士のメンタルケアも大切だと感じました。」
- 「感染管理のポイントをわかりやすく教えていただき、災害時の感染症対策に自信が持てました。」
- 「多職種連携の必要性を実感し、地域全体での連携体制づくりに積極的に関わっていききたいと思います。」
- 「講師の具体的な事例紹介がとても参考になり、現場での対応イメージがつかみやすかったです。」

参加者が学んだ災害対応力と今後の取り組み

今回のセミナーを通じて、参加者は災害時の看護対応に必要な知識とスキルを高めることができました。

今後も日向市では、地域の介護・医療現場の安全と安心を支えるため、継続的な研修を実施してまいります。